



CGI-Park 職人シリーズ

FAQ職人 システム管理者マニュアル Ver1.0



本マニュアルの対象商品

✓FAQ職人 Ver 1.0.0

目次

1. はじめに
 - 1-1. 本ソフトの概要と主な特徴
 - 1-2. CGIの動作環境
 - 1-3. 本ソフトのファイル構成と付属ドキュメント
2. 初期設定
 - 2-1. ログファイルの拡張子の設定
 - 2-2. Perlのパスの設定
 - 2-3. 複数の製品を組み合わせる場合の設定
 - 2-4. SSL領域で本ソフトをご利用いただく場合の設定
3. サーバへのセットアップ
 - 3-1. サーバへのアップロード
 - 3-2. パーミッションの設定
 - 3-3. セットアップ開始
 - 3-4. セットアップ完了
4. 管理画面の設定
 - 4-1. 試用開始
 - 4-2. システム管理者パスワードの設定
 - 4-3. 環境設定
 - 4-4. フォルダ位置の設定
 - 4-5. 管理者アカウントの設定
5. カテゴリの設定
 - 5-1. カテゴリの登録と管理
 - 5-2. 回答枠の設定と編集権限
6. デザインテンプレートを作成する
 - 6-1. テンプレートの種類
 - 6-2. デザインテンプレートを作成する上での基本ルール
 - 6-3. 基本フレームのデザインテンプレートの作成
 - 6-4. 全一覧ページのテンプレートの作成 [temp-list.htm]
 - 6-5. カテゴリ別一覧ページのテンプレートの作成 [temp-cate.htm]
 - 6-6. 検索結果一覧のテンプレートの作成 [temp-search.htm]
 - 6-7. 詳細ページ用テンプレートの作成 [temp-detail.htm]
 - 6-8. カテゴリメニュー用テンプレートの作成 [temp-menu.htm]
7. その他の設定と公開準備
 - 7-1. 公開用CGIプログラムを設定する
 - 7-2. サーバへのアップロードと動作確認
8. その他の技術情報
 - 8-1. スタイルシートが正しく適用されない場合の設定
 - 8-2. 管理画面へのログイン履歴
 - 8-3. 管理メニューの設定
 - 8-4. 本ソフトのライセンス情報について
 - 8-5. システムのアップデート
 - 8-6. システムの再構築

1. はじめに

1-1. 本ソフトの概要と主な特徴

ホームページにFAQを作成・公開するためのCGI

FAQ職人はホームページ上によくある質問をまとめたFAQページを作成するためのCGIです。FAQはホームページの中でも比較的頻繁に更新されるコンテンツで、これをFAQ職人でシステム化しておくことでだれでも簡単に更新作業を行うことができます。

主な特徴

- 1. 管理画面からQ&Aの登録を行うだけで、HP上にHTMLファイルでFAQページが作成される**

決められた入力フォームに、質問や解答などを入力していただくだけで簡単にホームページにFAQコンテンツを作成することが出来ます。入力作業はフォームに沿って入力していただけなので、ワープロ入力程度のスキルがあれば誰でも入力が行なえます。

作成されたページはすべてHTMLファイルとして書き出されるので、検索エンジン対策(SEO)になったり、静的なページのためサーバへの負荷も軽減されます。
- 2. 入力するQ&Aは、カテゴリ別の登録が出来る**

登録するQ&Aはカテゴリ別に分類することができます。

カテゴリの追加・変更・削除は管理画面から行なえるので、新たなカテゴリを追加したい場合などでも迅速に対応できます。

また、カテゴリの登録件数には制限がないので、必要な数だけ自由に増やすことが出来ます。
- 3. 質問(Q)、回答(A)の入力以外に画像やURLの入力も可能**

様々な利用条件に柔軟に対応できるように、「質問」「回答」の入力項目以外に、「補足」、「関連リンク」、「写真×2か所」の入力フォームを必要に応じて加えることができます。

また、入力フォームの設定はカテゴリごとに行えるので、より柔軟に対応できます。
- 4. 各カテゴリごとに管理者の編集権限を変えることができる**

各カテゴリに対して、管理者ごとに編集権限を与えることができるため、カテゴリごとに担当を決めて入力作業を分担させることができます。
- 5. 作成したHTMLページの「公開」「非公開」が管理画面上で行なえる**

入力したQ&Aは管理画面上で一覧表示でき、ホームページ上に公開するかどうかを、ボタン一つで切り替えることが出来ます。新規にQ&Aを登録しても、すぐに公開したくない場合や、古い情報を一時的に非公開したいときなどに便利です。

また、一覧表示の際の表示順序も自由に変更できます。

1. はじめに

1-2. CGIの動作環境

本CGIは下記の条件を満たしているWEBサーバにおいて動作するように設計されています。

ただし、下記の条件を満たしている場合でも必ず動作するわけではありませんので、本ソフトを購入する前に必ずWEBサーバでの動作確認を行なってください。

【動作環境】

- ✓ サーバのOSがLinux等のUNIX系のOSであること
(Windows系のサーバでも概ね動作すると思われませんが、詳しい動作確認テストを行っていないため、Windows系サーバで利用する場合は、必ず試用期間を利用して動作確認を行ってください)
- ✓ Perl 5.00503 以上がインストールされていること
- ✓ Sendmailが利用できること
- ✓ ImageMagickおよび、PerlMagickが利用できること(任意)
ImageMagickが利用可能な場合は、画像サイズの自動変換機能を利用することが出来ます。

1. はじめに

システム管理者マニュアル Ver1.0

1-3. 本ソフトのファイル構成と付属ドキュメント (2/2)

■フォルダ □ファイル	説明
■ public	公開フォルダ
□ faq.cgi	公開ページ用CGIプログラム
□ faq.css	サンプルページ用スタイルシート
□ temp-base.htm	基本ページデザインテンプレート
□ temp-cate.htm	カテゴリー一覧用デザインテンプレート
□ temp-detail.htm	詳細ページ用デザインテンプレート
□ temp-list.htm	登録情報全一覧用デザインテンプレート
□ temp-menu.htm	カテゴリメニューデザインテンプレート
□ temp-search.htm	検索結果表示用デザインテンプレート
■ ドキュメント	本ソフトの付属ドキュメントを格納
□ ソフトウェア使用許可契約書.txt	ソフトウェア使用許可契約書(必ずお読みください)
□ システム管理者マニュアル.pdf	システム管理者用マニュアル

2. 初期設定

2-1. ログファイルの拡張子の設定

ログファイルの拡張子の設定について

システムのセットアップを行なう前に、ログファイルの拡張子の設定を行なう必要があります。デフォルトの拡張子は「.log」となっています。

ログファイルの保存フォルダをWEB公開領域(ブラウザからアクセスすることが出来るフォルダ)に置く場合は拡張子を必ず「.cgi」等の実行形式の拡張子に変更してください。「.log」のままにしておくと、ブラウザから直接ログファイルにアクセスされた際、ログファイルの中身が表示されてしまい、大切な個人情報等が漏洩してしまう可能性があります。

✓ ログファイルの拡張子を変更する

「faq¥cgi¥conf.pl」というファイルをテキストエディタで開いてください。

```
13行 $log_ext = 'log';
```

と記述された箇所があります。これの'log'の部分を変更したい拡張子に書き換えてください。

ただし、[html][db][mail]を使用することは出来ません。

実行形式の拡張子にしたい場合は[cgi]にすることをおすすめします。

[cgi]にすると、たとえブラウザから直接そのログファイルにアクセスして来た場合でも、「Internal Server Error」となり、ファイルを開くことは出来ません。

2. 初期設定

2-2. Perlのパスの設定

Perlのパスについて

WEBサーバ上のどこにPerl処理系があるかを示すもので、設置するサーバの環境に合わせてPerlの実行ファイルに記述する必要があります。

不明な場合は、サーバにTelnetでアクセスし、

```
% which perl
```

と入力してみてください。画面にPerlのパスが表示されるはずです。

通常Perlのパスは「/usr/bin/perl」または「/usr/local/bin/perl」のどちらかになると思います。

本ソフトではデフォルトで「/usr/bin/perl」としています。お使いのサーバと異なる場合は下記を参考にして必ず書き換えてください。

✓ Perlのパスを書き換える

「faq¥cgi¥setup.cgi」というファイルをテキストエディタで開きます。1行目に

```
#!/usr/bin/perl
```

と記述されています。これを設置するサーバの環境に合わせて書き換えてください。

通常は以下のいずれかになると思います。

```
#!/usr/local/bin/perl
```

```
#!/usr/bin/perl
```

```
#!/bin/perl
```

2. 初期設定

2-3. 複数の製品を組み合わせて利用する場合の設定

✓ 複数の商品を組み合わせて利用する

当社の製品を複数ご利用いただく場合、商品ごとに別々にログインしたり、それぞれに管理者アカウントを作成しては作業効率が悪くなります。

そこで、当社製品を複数まとめて利用する場合、一つのWEB管理画面としてまとめて利用することが出来るようになっていきます。

✓ 設定方法

すべての商品で共有する情報は、管理者アカウント情報とログイン履歴情報、ログインクッキーの保存名です。

この3つを同一の設定にすることで、管理画面を一つにまとめることが出来るのです。

まず、管理者アカウント情報とログイン履歴情報の保存先を統一させます。

そこで、この2つのファイルを保存するための共通のフォルダを作成してください。例では下記の場所にフォルダを作成したと仮定します。

/web/cgi-bin/faq/cgi/admin.cgi	← 管理画面CGIの位置
/web/cgi-bin/faq/log	← 共有ログファイルの既定値
/cgi-data/common	← 新しく作成した共有フォルダ

「faq¥cgi¥folder.pl」をテキストエディタで開いてください。

```
32行   ### ログファイル共有フォルダ
33行   $CoLogDir = "";
```

という箇所があると思います。ここで先ほど作成した共通のログファイル保存フォルダの位置を指定します。

```
32行   ### ログファイル共有フォルダ
33行   $CoLogDir = "../../../cgi-data/common";
```

以上で管理者アカウント情報とログイン履歴情報の共有化作業が完了しました。

続いて、ログインクッキーの名前を統一させます。デフォルトの状態では、すでに統一されているので特に修正する必要はありませんが、状況に応じて修正したい場合は、下記の要領で行ってください。

「faq¥cgi¥conf.pl」をテキストエディタで開きます。

```
22行   $cookie_name = 'meijin';
```

という箇所がありますので、「'meijin'」という部分を変更したいクッキー名に書き換えてください。変更した名前はすべての商品にも反映させる必要があります。

以上で、共有化の設定が完了です。

2. 初期設定

2-4. SSL領域で本ソフトをご利用いただく場合の設定

- ✓ 本ソフトをSSL領域で利用する場合は以下の設定を行なう必要があります。
この設定を行なわないと試用期間を開始したりライセンスの登録が正しく行な
われない可能性があります。

- ✓ 設定方法
「faq¥cgi¥conf.pl」をテキストエディタで開いてください。(下図参照)
ここで、37行目の「\$admin_cgi_path = ''」にhttps:///～から始まる
「faq¥cgi¥admin.cgi」までのパスを指定します。

例) \$admin_cgi_path = 'https://www.cgi-park.com/cgi-bin/cgi/admin.cgi';

#■■■ admin.cgiまでのフルパス ■■■

#試用期間の開始やライセンスの登録がうまくいかない場合に設定を行ないます。

#主にSSL領域に本CGIを設置した場合に設定が必要になります。

#設定を行う場合は、http://またはhttps://から始まるadmin.cgiまでのパスを指定してください。

例) \$admin_cgi_path = 'https://www.cgi-park.com/cgi-bin/cgi/admin.cgi';

```
$admin_cgi_path = '';
```

3. サーバへのセットアップ

3-1. サーバへのアップロード

システムの初期設定が完了したら、いよいよセットアップ作業を開始します。まず、「faq」フォルダ以降をすべてFTPでサーバにアップロードします。（「ドキュメント」フォルダはアップロードする必要はありません。）ちなみに、「faq」というフォルダ名は、好きな名前に変更することができます。必要に応じて変更してください。

例では、下記のようにcgi-binフォルダ以降にアップロードすると仮定します。

- web ← WEB公開フォルダ
 - └─ ■ cgi-bin ← CGIファイル格納フォルダ
 - └─ ■ faq ← 本ソフトのアップロード先
 - └─ ■ cgi
 - └─ ■ image
 - └─ ■ log
 - └─ ■ photo
 - └─ ■ public

3. サーバへのセットアップ

3-2. パーミッションの設定

本ソフトをサーバにアップロードしたら、お使いのサーバに合わせてパーミッションを変更してください。CGIの動作権限がowner権限かother権限かでパーミッションの設定方法が異なる場合があります。

■フォルダ □ファイル	Owner権限	Other権限	■フォルダ □ファイル	Owner権限	Other権限
■ cgi-bin			■ log	変更不要	707 or 777
■ faq	変更不要	705 or 755	□ category.log	変更不要	606 or 666
■ cgi	変更不要	705 or 755	□ conf.log	変更不要	606 or 666
□ conf.pl	変更不要	606 or 666	□ index.htm	変更不要	変更不要
□ folder.pl	変更不要	606 or 666	□ meijin.log	変更不要	606 or 666
□ setup.cgi	705	705 or 755	□ menu.log	変更不要	606 or 666
■ image	変更不要	707 or 777	□ system.log	変更不要	606 or 666
□ *.gif, *.jpg	変更不要	変更不要	■ photo	変更不要	707
□ font.css	変更不要	変更不要	□ *.gif	変更不要	変更不要
□ style.css	変更不要	変更不要			
□ window.js	変更不要	変更不要			
■ public	変更不要	707 or 777			
□ faq.cgi	705	705 or 755			
□ faq.css	変更不要	変更不要			
□ temp-base.htm	変更不要	変更不要			
□ temp-cate.htm	変更不要	変更不要			
□ temp-detail.htm	変更不要	変更不要			
□ temp-list.htm	変更不要	変更不要			
□ temp-menu.htm	変更不要	変更不要			
□ temp-search.htm	変更不要	変更不要			

3. サーバへのセットアップ

3-3. セットアップ開始

✓ セットアップ開始画面へアクセス

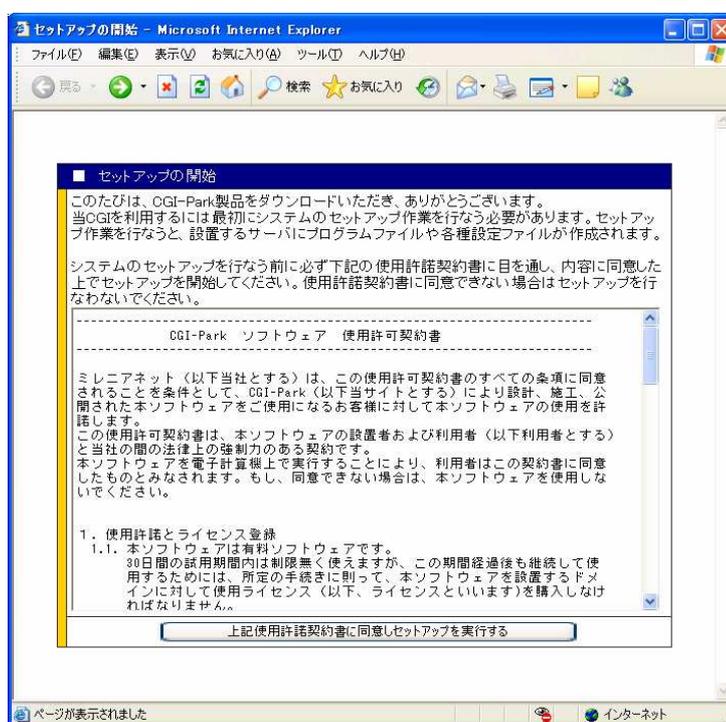
サーバへファイルをすべてアップロードしたら、セットアップ開始ページ「cgi/setup.cgi」にアクセスします。

たとえば、設置するサイトのURLが「www.cgi-sample.com」で、サーバへのアップロード先が「/cgi-bin/faq/」とすると、セットアップの開始画面は

<http://www.cgi-sample.com/cgi-bin/faq/cgi/setup.cgi>

になります。このページをブラウザでアクセスすると、下記の画面が現れます。

下記の画面が現れず「Internal Server Error」等になる場合は、CGIの実行時にエラーが発生しています。前項「2-2. Perlのパスの設定」や「3-2. パーミッションの設定」が正しく行われているか再度ご確認ください。



セットアップ開始画面

✓ セットアップ開始

セットアップ開始画面では、本ソフトの「ソフトウェア 使用許諾契約書」が表示されています。

必ず、契約書の内容に目を通し、同意した上でセットアップを開始してください。契約書内容に同意できない場合は、決してセットアップを行わないでください。

【セットアップエラー】

セットアップ開始ボタンをクリックした後、エラーメッセージが表示された場合は、何らかの原因によりセットアップが正常に行なわれなかった可能性があります。

その場合、本マニュアルを参考にし、再度正しくアップロードされているかご確認ください。

3. サーバへのセットアップ

3-4. セットアップ完了

セットアップが完了すると、システムに必要なプログラムファイルや設定ファイルが作成されます。

★マークが付いている箇所がセットアップ後に作成されたファイルやフォルダとなります。

■フォルダ □ファイル	説明
■ faq	本ソフトのフォルダ
■ cgi	各種CGIプログラムの格納フォルダ
□ admin.cgi ★	管理画面メインプログラム
□ conf.pl	システム基本情報の定義ファイル
□ folder.pl	フォルダ情報の定義ファイル
□ index.cgi ★	公開ページ用CGIプログラム
■ data ★	データファイル格納フォルダ
■ html ★	システムHTMLファイル格納フォルダ
■ image	各種イメージファイル、スタイルシートを格納
■ public	コンテンツファイル格納フォルダ
■ lib ★	CGIライブラリ格納フォルダ
■ log	ログファイル格納フォルダ
■ photo	アップロード画像格納フォルダ
□ index.cgi ★	管理画面トップページ

セットアップが完了すると、セットアップ用CGIプログラムがなくなり、代わりに管理画面用メインプログラム等が新しく作成されます。

セットアップの開始画面が

<http://www.cgi-sample.com/cgi-bin/faq/cgi/setup.cgi>

の場合、管理画面のトップは

<http://www.cgi-sample.com/cgi-bin/faq/index.cgi>

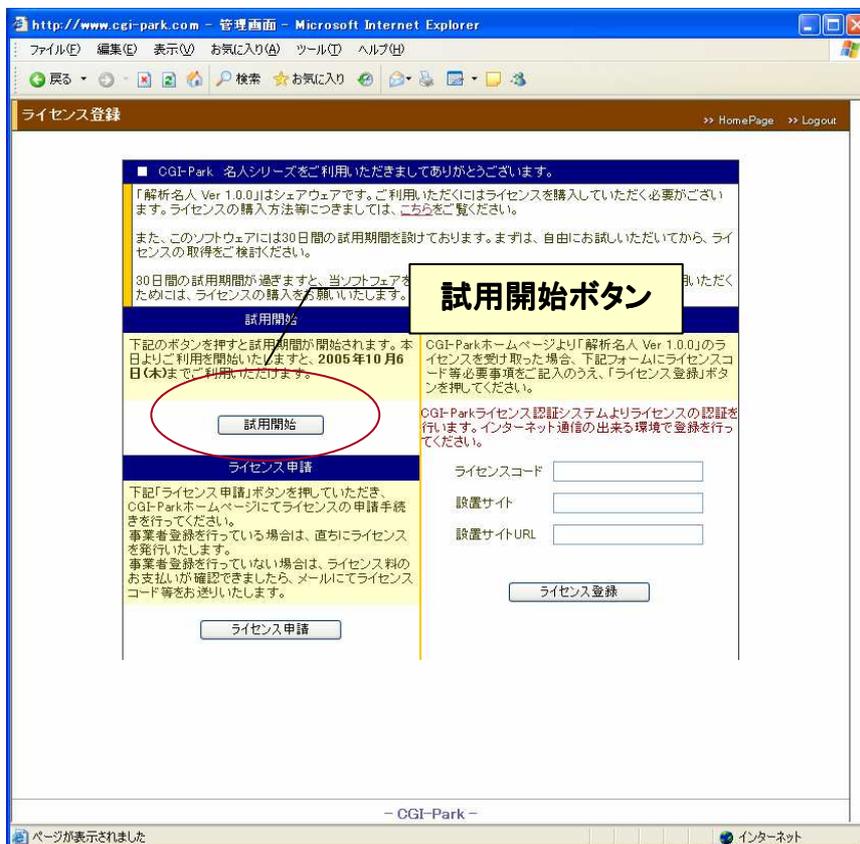
となります。今後、本ソフトの管理画面にアクセスする際は、上記URLにアクセスしてください。

また、このページをお気に入りに登録しておくことをおすすめします。

4. 管理画面の設定

4-1. 試用開始

- ✓ セットアップが無事完了すると下記の画面が現れます。



本ソフトは30日間の試用期間が設けられていますので、ライセンスの購入を行なう前に試用してみたい場合は、「試用開始」ボタンをクリックしてください。30日間の試用期間が与えられ、自由に操作できるようになります。

「試用開始」ボタンを押すと「リクエストされた URL は、このサーバ上には見つかりません。」という画面になって試用期間を開始できない場合は、前項「2-4. SSL領域で本ソフトをご利用いただく場合の設定」の設定を行う必要があります。本ソフトを実行する環境がSSL領域ではなくてもお使いのサーバの仕様上この設定が必要な場合があります。

4. 管理画面の設定

4-2. システム管理者パスワードの設定

✓ システム管理者のパスワードを設定する

管理画面に最初にアクセスすると、下記のような管理者アカウントの作成画面が現れます。

本ソフトでは管理者権限を「システム管理者」と「ホームページ管理者」の2つの権限の管理者アカウントを作成することができます。

まず最初にすべての管理権限が与えられるシステム管理者のアカウントを作成します。



システム管理者アカウントの作成画面

ユーザー名

半角英数字で入力してください。ユーザー名は、一度登録すると変更することは出来ませんので、ご注意ください。

パスワード

半角英数字で入力してください。入力されたパスワードは暗号化されて保存されるため、パスワードを紛失してしまっても確認することが出来ません。システム管理者のパスワードを紛失して、管理画面にアクセスできなくなると、パスワードの再発行を行なえなくなりますので、十分にご注意ください。(HP管理者のパスワードは、システム管理者が再発行することが出来ます)

E-mail

管理者のメールアドレスの登録は、必須項目となっています。必ず入力してください。管理者メールアドレスはシステムに異常が見つかった際の緊急連絡用に利用する場合があります。

4. 管理画面の設定

4-3. 環境設定 (1/3)

システム管理者の登録が完了すると「環境設定」画面に切り替わります。環境設定では、管理画面の動作設定やログ解析の方法等の設定が行なわれます。

環境設定の変更

>> HomePage >> Logout

環境設定の変更を行います。下記フォームに必要事項を記入し、「設定変更」ボタンを押してください。設定事項を間違えると正しく動作しなくなる可能性があります。変更作業には十分ご注意ください。

■ システム基本情報		変更
このシステムの名称 FAQ職人	本システムのタイトルを設定してください。	
ホームページアドレス http://www.cgi-park.com	このシステムの設置するホームページのアドレスを設定してください。 例)http://www.sample.com	
外部アクセス <input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 遮断する	管理画面への外部からのリンクによるアクセス権を設定してください。「遮断する」を選択した場合、設置したホームページ以外のサイトからのアクセスや、URLを直接入力してのアクセスをすべて遮断します。	
■ 初期設定		変更
サポート用メールアドレス	CGI-Parkのサポートプログラムに登録している場合、指定されたメールアドレスを登録してください。サポートプログラムに登録していない場合は、何も入力しないでください。	
初期アクセスメニュー admin.cgi?html=qa	管理画面にアクセスした際に最初に表示する画面を設定します。 設定方法は「メニュー管理」で登録されているリンク先を指定してください。	
Sendmailのパス /usr/sbin/sendmail	Sendmailのパスを指定してください。 不明な場合は、サーバー管理者にご確認ください。	
メール送信エラーの通知先アドレス	システムから送信したメールが宛先不明で送信できなかった際の、配信エラーメールを受信するアドレスを設定してください。 (この設定はSendmailの「オプション」として設定されます。もし、オプションを許可していないサーバーの場合は何も設定しないでください。)	
親フレーム名 admin	管理画面を呼び出しているフレームのフレーム名を指定してください。デフォルトは「admin」です。	
左フレーム幅 150	管理画面の左メニューのフレーム幅を設定してください。	
右フレーム幅 600	管理画面右側のメインフレームの表示幅を設定してください。	
左フレームのスクロールバー <input checked="" type="radio"/> 表示しない <input type="radio"/> 表示する	左フレームのメニュー項目が画面からはみ出してしまう場合は、スクロールバーを「表示する」に設定してください。 ※この設定を変更した場合、「F5キー」を押して管理画面をリロードしてください。	
管理画面のクッキー保存期間(日) 10	管理画面のクッキーの保存期間を設定してください。 単位は日です。	
カテゴリ管理番号の初期値 ca001	カテゴリデータの管理番号の初期値を設定します。半角英数字のみ使用可。カテゴリデータの管理番号はカテゴリ一覧ページのファイル名に利用されます。 例:ca0001 → ファイル名 ca0001.html	

【システム基本情報】

- **このシステムの名称**
この管理画面の名称を入力してください。ここで設定された名称は管理画面の左上に表示されます。
- **ホームページアドレス**
本ソフトを設置したホームページのURLを入力してください。
管理画面へ不正にアクセスされた場合、ここで設定されたアドレスにジャンプされます。
- **外部アクセス**
「外部アクセスを遮断する」に設定した場合、正規のログインページ以外からのアクセスをブロックし管理画面への不正なアクセスを遮断することが出来ます。
例えば、左側の管理メニューのリンク先をコピーし、リンク先のURLに含まれる管理画面に渡す引数を故意に変更してアクセスしてきた場合でも、その引数をシステムに渡す前にブロックすることが出来ます。

※マッキントッシュの一部のブラウザからアクセスした際、正しくアクセスしているのに、稀に外部アクセスとみなされて遮断してしまう場合があります。その場合、「許可する」にチェックを付け、この機能をオフにしてください。

環境設定画面

4. 管理画面の設定

4-3. 環境設定 (2/3)

【初期設定】

- **初期アクセスメニュー**
管理画面にアクセスした際に最初に表示する画面を設定してください。
設定方法は「メニュー管理」で登録されているリンク先を記入してください。
初期設定では「日別アクセス」が最初の画面になるように設定されています。
- **Sendmailのパス**
サーバのSendmailまでのパスを指定してください。通常は「/usr/sbin/sendmail」か「/usr/lib/sendmail」が一般的です。不明な場合は、サーバー管理者にご確認ください。
- **メール送信エラーの通知先アドレス**
システムから送信したメールが宛先不明で送信できなかった際の、配信エラーメールを受信するアドレスを設定してください。
(この設定はSendmailの-fオプションとして設定されます。もし、fオプションを許可していないサーバの場合は何も設定しないでください。)
- **親フレーム名**
管理画面を呼び出しているフレームのフレーム名を指定してください。デフォルトは「admin」です。
管理画面メインプログラム「admin.cgi」を呼び出す際のフレームページ(index.html)のフレーム名になります。
- **左フレーム幅**
管理画面の左メニューのフレーム幅を設定してください。デフォルトでは150ピクセルになっています。
- **右フレーム幅**
管理画面の右メニューのフレーム幅を設定してください。デフォルトでは600ピクセルになっています。
- **管理画面のクッキー保存期間(日)**
管理画面のクッキーの保存期間を設定してください。単位は日です。
デフォルトでは10日間となっています。この日数より間を空けてアクセスすると再度ログインを求められます。
- **ログ管理番号の初期値**
ログデータの管理番号の初期値を設定します。半角英数字のみ使用可。ログデータの管理番号は作成される詳細ページのファイル名となります。
例:p0001 → ファイル名 p0001.html
- **カテゴリ管理番号の初期値**
カテゴリデータの管理番号の初期値を設定します。半角英数字のみ使用可。カテゴリデータの管理番号はカテゴリー一覧ページのファイル名に利用されます。<
例:ca0001 → ファイル名 ca0001.html

4. 管理画面の設定

4-3. 環境設定 (3/3)

【画像設定】

- **写真がない場合の代替画像**
アップロードする画像がない場合の代替画像を指定してください。画像は「アップロード画像格納フォルダ」に入れてください。
- **画像リサイズ機能**
アップロードした画像に対して、指定したサイズにリサイズを行いたい場合は、「利用する」にチェックを付けてください。
※この機能を利用するには、サーバーにImageMagickおよび、PerlMagickがインストールされている必要があります。ご不明な場合は、サーバー管理者にご確認ください。
- **リサイズする画像サイズ**
画像のリサイズ機能を利用する場合、リサイズする画像サイズを指定してください。

例) 横200px 縦150pxにしたい場合「200*150
横100pxで縦を元画像に合わせた比率で縮小する場合「100*」

■ 画像設定		変更
アップロードする画像に関する設定を行ないます。		
写真がない場合の代替画像	spacer.gif	アップロードする画像がない場合の代替画像を指定してください。画像は「アップロード画像格納フォルダ」に入れてください。
画像リサイズ機能	<input type="radio"/> 利用する <input checked="" type="radio"/> 利用しない	アップロードした画像に対して、指定したサイズにリサイズを行いたい場合は、「利用する」にチェックを付けてください。 ※この機能を利用するには、サーバーにImageMagickおよび、PerlMagickがインストールされている必要があります。ご不明な場合は、サーバー管理者にご確認ください。
リサイズする画像サイズ		画像のリサイズ機能を利用する場合、リサイズする画像サイズを指定してください。 例) 横200px 縦150pxにしたい場合「200*150」 横100pxで縦を元画像に合わせた比率で縮小する場合「100*」
■ 公開ページ設定		変更
作成したQ&Aをホームページ上に公開する際各種設定を行ないます。 公開するフォルダはフォルダ設定より任意で設定することが出来ます。		
公開用HTMLファイルの拡張子	html	HTML書き出しを行なう際に作成されるHTMLファイルの拡張子を指定してください。ドット[.]は付けないでください。 例) html, htm, shtml
登録データ全一覧の作成	<input checked="" type="radio"/> 作成する <input type="radio"/> 作成しない	登録されているデータを1ページに集めた「登録データ一覧」のページを作成する場合は、「作成する」を選択してください。
全一覧ページのファイル名	index.html	登録データ全一覧ページを作成する場合は、ページのファイル名を指定してください。 例) index.html
全一覧ページで表示する各カテゴリ内での表示件数		全一覧ページで表示する各カテゴリごとの質問リストや質問と回答の一覧の表示件数を設定してください。 すべて表示する場合は何も入力する必要はありません。
カテゴリ別Q&Aページの作成	<input checked="" type="radio"/> 作成する <input type="radio"/> 作成しない	カテゴリ毎のQ&Aページを作成する場合は、「作成する」を選択してください。
詳細ページの作成	<input checked="" type="radio"/> 作成する <input type="radio"/> 作成しない	Q&Aの詳細ページを作成する場合は、「作成する」を選択してください。

【公開ページ設定】

作成したQ&Aをホームページ上に公開する際各種設定を行ないます。
公開するフォルダはフォルダ設定より任意で設定することが出来ます。

- **公開用HTMLファイルの拡張子**
HTML書き出しを行なう際に作成されるHTMLファイルの拡張子を指定してください。ドット[.]は付けないでください。
例) html, htm, shtml
- **登録データ全一覧の作成**
登録されているデータを1ページに集めた「登録データ一覧」のページを作成する場合は、「作成する」を選択してください。
- **全一覧ページのファイル名**
登録データ全一覧ページを作成する場合は、ページのファイル名を指定してください。
例) index.html
- **全一覧ページで表示する各カテゴリ内での表示件数**
全一覧ページで表示する各カテゴリごとの質問リストや質問と回答の一覧の表示件数を設定してください。
すべて表示する場合は何も入力する必要はありません。
- **カテゴリ別Q&Aページの作成**
カテゴリ毎のQ&Aページを作成する場合は、「作成する」を選択してください。
- **詳細ページの作成**
Q&Aの詳細ページを作成する場合は、「作成する」を選択してください。

4. 管理画面の設定

4-4. フォルダ位置の設定 (1/2)

本ソフトをセットアップした最初状態では、ログファイルの格納フォルダなどがブラウザから直接アクセスすることの出来る「WEB公開領域」におかれています。そのままにしておくと悪意のある第三者から不正にアクセスされ、ログファイルの中身を盗み見られてしまう可能性が出てきます。

そのような危険な状態を回避するためにも、セットアップ後は必ずフォルダの移動を行なう必要があります。

下記の例を参考にログファイル格納フォルダを適切な位置に移動してください。

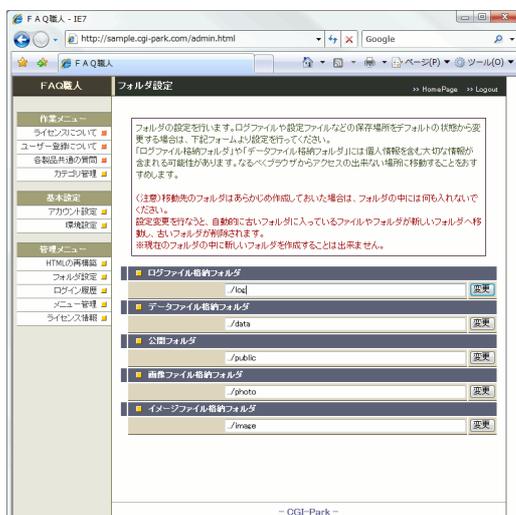
1. 非公開フォルダの作成

まず、「web」フォルダをWEB公開フォルダと仮定するとそれと同じ階層に「cgi-data」フォルダ(フォルダ名は任意)をFTPソフト等を使って作成します。



2. 管理画面での操作

管理画面の左側のメニューより「フォルダ設定」をクリックする。



本ソフトでは下記のフォルダが設定可能フォルダとなっています。

【ログファイル格納フォルダ】

システムが生成したログファイルや設定ファイルが格納されています。

【データファイル格納フォルダ】

システムで使用する各種設定ファイル等が格納されています。

【公開フォルダ】

登録した情報を公開する一覧ページや詳細ページなどのHTMLファイルが格納されます。

【画像ファイル格納フォルダ】

本ソフトでアップロードした画像が格納されます。

4-4. フォルダ位置の設定 (2/2)

本ソフトを設置したフォルダが「/web/cgi-bin/faq/」フォルダとすると、管理画面のメイン CGIファイルは「/web/cgi-bin/faq/cgi/admin.cgi」にあり、ここから見た、新しいフォルダまでの相対パスを指定して、「変更」ボタンを押すことで、フォルダとその中に格納されているファイルが移動します。

先ほど「/cgi-data」フォルダを作成したので、そこに「ログファイル格納フォルダ」を移動する場合、移動先のフォルダ名を「faq_log」とすると、

移動前の位置 [/web/cgi-data/faq/log]

↓

移動後の位置 [/cgi-dta/faq_log/]

という移動を行なうので、新しいフォルダまでのパスは

[../..../..../cgi-data/faq_log]

となります。

変更処理が正常に完了すると、変更前のログファイル格納フォルダ「/web/cgi-bin/faq/log/」がなくなり、その中に入っていたフォルダやファイルはすべて「/cgi-data/faq_log/」の中に移動します。

(注意事項)

- ・移動先のフォルダはあらかじめ作成しておいた場合 (faq_logフォルダをあらかじめ作っておいた場合) は、フォルダの中には何も入れないでください。万が一ファイル等が入っていた場合は、エラーとなり移動処理が行なえません。

- ・上記例の場合、[faq_log]フォルダは作成しておく必要はありませんが、[cgi-data]フォルダは事前に作成しておく必要があります。移動先のフォルダがない場合は移動処理が行なえません。

- ・現在のフォルダの中に新しいフォルダを作成して、そこに移動することは出来ません。

例) 移動前 /web/cgi-bin/faq/log/

↓

移動後 /web/cgi-bin/faq/log/new_log/

✓ **公開HTMLファイル格納フォルダの位置を決定する**

「公開HTMLファイル格納フォルダ」の設定は、登録した情報を表示する、一覧ページや詳細ページなどのURLとして反映されます。たとえば「cgi-sample.com」というサイトで業務実績として利用する場合は、業務実績の一覧ページを

<http://www.cgi-sample.com/job/index.html>

にしたいとすると、公開HTMLファイル格納フォルダの設定は

[../..../job](#)

となります。

公開HTMLファイル格納フォルダは一般に公開されるフォルダとなるため設置場所には十分ご注意ください。

4. 管理画面の設定

4-5. 管理者アカウントの設定 (1/2)

✓ 管理者アカウントについて

本ソフトでは、管理画面にアクセスする管理者を「システム管理者」と「ホームページ管理者」の二つの管理権限に分けて、管理しています。

➤ システム管理者

本ソフトを設置した方や、管理画面全般を管理する方で、本ソフトを実際に利用することが出来るように、設置するホームページに合わせた調整を行ったり、製品のバージョンアップを行ったりと、管理画面に対してすべてのアクセス権限を持っている管理者です。

➤ ホームページ管理者

本ソフトを設置した後に実際に管理画面を利用する方で、管理者アカウントの作成や、フォルダの移動といった設定作業を行わず、通常の業務のみを行なう管理者となります。

ホームページ管理者には一部の管理メニューのみが表示され、設定関係のメニューは表示されなくなり、すっきりとした管理画面になります。



システム管理者の管理画面



ホームページ管理者の管理画面

4. 管理画面の設定

4-5. 管理者アカウントの設定 (2/2)

✓ 管理者アカウントを作成する

管理者アカウントの新規作成を行なうことができるのは、「システム管理者」のみとなります。もし、「ホームページ管理者」でログインしている場合は、システム管理者としてログインしなおしてください。

まず、管理メニューより「アカウント設定」をクリックしてください。

管理画面に登録されている管理者アカウントの一覧が表示されます。

新たに管理者アカウントを追加する場合は、「アカウントの新規作成」ボタンをクリックしてください。

管理者アカウントの登録フォームが現れるので、必要事項を記入して、「登録」ボタンを押してください。

これで、新しい管理者アカウントの登録が完了です。

The image shows two screenshots of a web management interface. The left screenshot displays a table of existing user accounts and a 'New Account Creation' button circled in red. A yellow callout box points to this button with the text '新規作成ボタンをクリック'. Below the table are two text boxes explaining the roles of 'HP Manager' and 'System Manager'. The right screenshot shows the 'New Account Creation' form with fields for 'User Name', 'Password', 'Password (re-enter)', 'E-Mail', and 'Access Rights' (System Manager or HP Manager). A 'Register' button is at the bottom.

ユーザー名	メールアドレス	権限	処理
admin	sample@cgi-park.com	システム管理者	変更
user	sample@cgi-park.com	HP管理者	変更/削除

ユーザー名

半角英数字で入力してください。ユーザー名は、一度登録すると変更することは出来ませんので、ご注意ください。

パスワード

半角英数字で入力してください。入力されたパスワードは暗号化されて保存されるため、パスワードを紛失してしまっても確認することが出来ません。

E-mail

管理者のメールアドレスの登録は、必須項目となっています。必ず入力してください。管理者メールアドレスはシステムに異常が見つかった際の緊急連絡用に利用する場合があります。

アクセス権限

「システム管理者」または、「HP管理者」のどちらの権限でアカウントを作成するか選択してください。

5. カテゴリの設定

5-1. カテゴリの登録と管理

「ホームページについて」「商品について」「サポートについて」といった、FAQのカテゴリの登録を行います。カテゴリ分類が必要ない場合は「よくある質問と回答」といったカテゴリを1つ作成しておいてください。
 カテゴリは最低でも1つ以上作成する必要があります。
 また、登録するカテゴリごとに回答枠の設定や、操作権限の設定を行います。

✓ カテゴリ管理番号の初期値

カテゴリの管理番号はカテゴリ別一覧ページを作成した際のファイル名に利用します。デフォルトでは「ca001」となっているため、カテゴリ一覧ページは「ca001.html」「ca002.html」といったファイル名で作成されていきます。
 カテゴリ番号の初期値は環境設定より変更できます。

✓ カテゴリの新規登録

管理画面の「カテゴリ管理」よりカテゴリの登録を行います。
 ※登録数に上限はありませんので、必要な数だけ登録できます。



✓ 登録カテゴリの順序変更

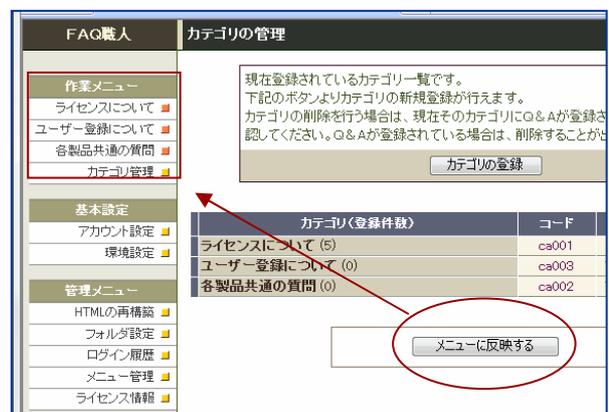
複数のカテゴリを登録した際、登録順序の変更が行えます。
 カテゴリの順序は公開ページでの並び順などに反映されます。

✓ カテゴリの削除

登録したカテゴリを削除するには「削除」をクリックしてください。
 既にそのカテゴリに情報が登録されている場合は削除できなくなっていますので、登録されている情報をすべて削除してからカテゴリの削除を行ってください。

✓ 「メニューに反映する」ボタン

登録したカテゴリを管理メニューに反映させるためのボタンです。



5. カテゴリの設定

5-2. 回答枠の設定と編集権限

登録したカテゴリごとに質問に対する解答欄の入力枠を設定したり、管理者ごとにカテゴリに対する編集権限の設定が行えます。

- ✓ **カテゴリ名**
必須項目です。
カテゴリの名前を設定してください。
- ✓ **説明文**
登録は任意です。
カテゴリに対する説明文になります。登録した内容はカテゴリ一覧ページなどで出力することができます。
- ✓ **入力項目**
質問と回答欄のほかに「補足」「関連リンク」「画像1」「画像2」を回答欄に加えることができます。
- ✓ **編集権限**
ホームページ管理者に対してそのカテゴリへの編集権限を設定できます。
システム管理者はすべてのカテゴリに対して編集権限が与えられます。
編集権限のないカテゴリは管理画面の作業メニューの中からそのカテゴリのリンクなくなり、アクセスできなくなります。

設定内容は入力フォームに反映されます。

6. デザインテンプレートを作成する

6-1. テンプレートの種類

管理画面から登録したFAQをホームページ上に表示するためのデザインテンプレートの作成方法を解説します。

テンプレートファイルは下記の6種類あります。

- ✓ **temp-base.htm (基本フレーム)**
ページのヘッダーやフッター、ナビゲーションメニューなどを含む外枠部分のデザインテンプレートになります。
このテンプレートを他のページのデザインと合わせる事で、他のコンテンツと違和感なく連携させることができます。
- ✓ **temp-list.htm (全一覧ページ用)**
登録したFAQをすべて表示できる全一覧ページ用のデザインテンプレートになります。
こちらは環境設定の「登録データ全一覧の作成」で「作成する」を選択した場合に必要になります。
全一覧ページでは、カテゴリページへのリンクだけや、カテゴリ名と質問のみの一覧にすることも出来ます。
- ✓ **temp-cate.htm (カテゴリ別一覧ページ用)**
カテゴリ別一覧ページ作成用のテンプレートになります。カテゴリ別一覧ページは、環境設定の「カテゴリ別Q&Aページの作成」で「作成する」を選択した場合に作成されるページになりますので、「作成しない」を選択した場合は、このテンプレートを調整する必要はありません。
- ✓ **temp-search.htm (検索結果一覧用)**
キーワード検索を行った際の検索結果一覧を表示させるためのテンプレートになります。
公開ページにキーワード検索フォームを設置した場合に必要になります。
- ✓ **temp-detail.htm (詳細ページ用)**
登録したFAQごとに個別に詳細ページを作成するためのテンプレートになります。
質問だけ一覧ページに載せ、回答は別ページに作成したり、ポップアップで表示させたりする場合に詳細ページを利用します。
詳細ページを作成する場合は、環境設定の「詳細ページの作成」で「作成する」を選択してください。
- ✓ **temp-menu.htm (カテゴリメニュー用)**
複数のカテゴリを作成し、サイドメニュー等にカテゴリ一覧へのリンクを作成したい場合に利用します。

6. デザインテンプレートを作成する

システム管理者マニュアル Ver1.0

6-2. デザインテンプレートを作成する上での基本ルール (1/3)

作成されるページはすべてtemp-base.htmの基本フレームと組み合わせてページを作成していきます。

基本フレームは図1のAのように基本的にヘッダーやフッター、サイドメニューからなる部分で各ページで共通する部分になります。

各一覧ページや詳細ページは、図1のBの部分をテンプレートとして作成します。

そのため、図3のような形のページレイアウトを作成することは出来ません。

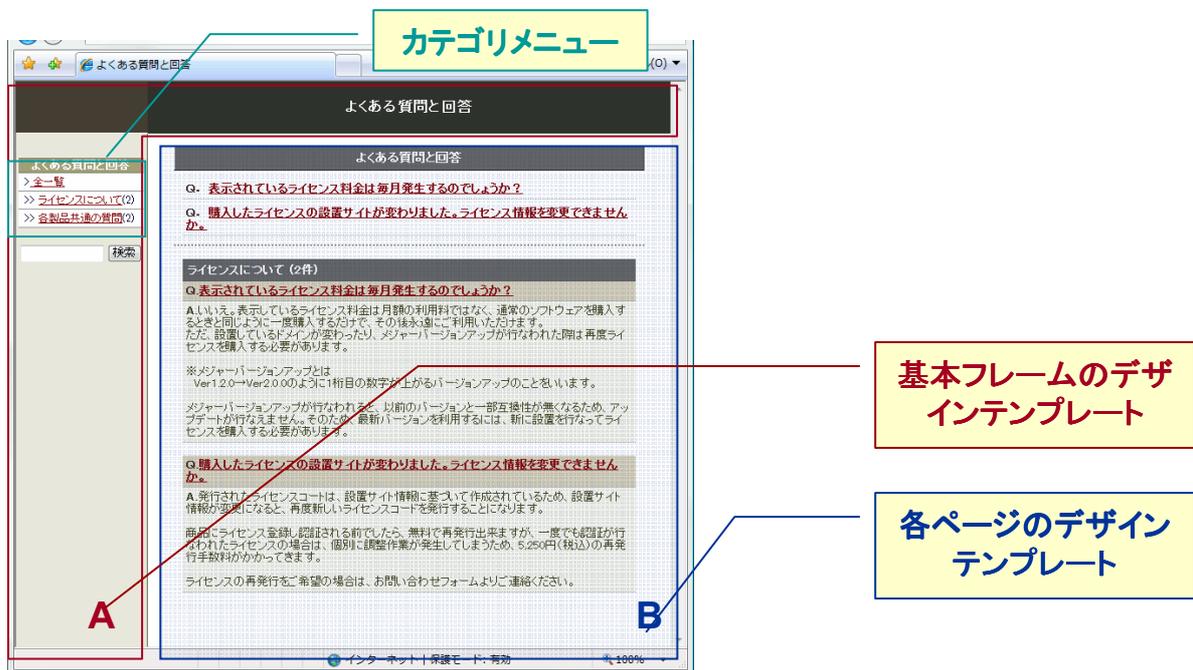


図1: デザイン構成例

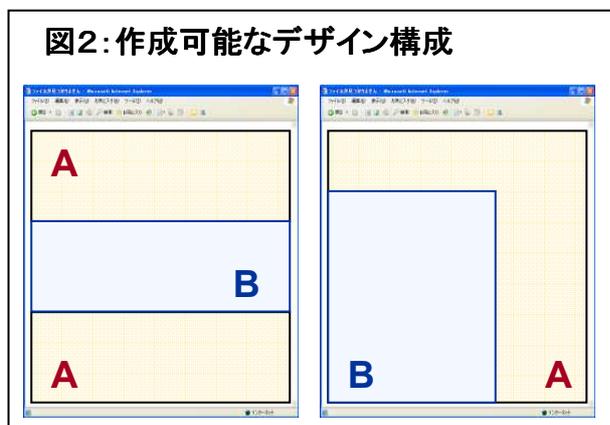


図2: 作成可能なデザイン構成

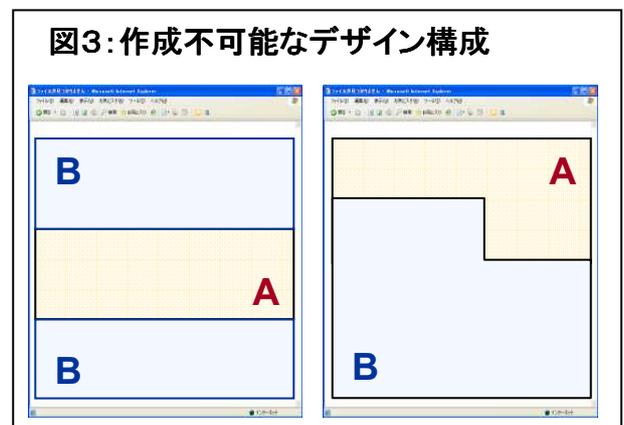


図3: 作成不可能なデザイン構成

6. デザインテンプレートを作成する

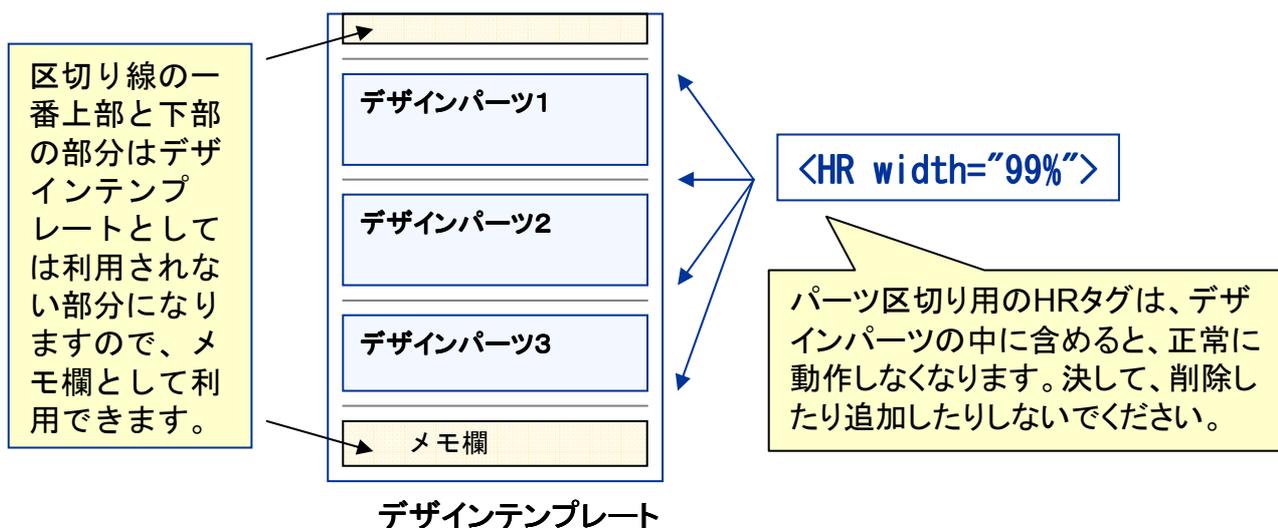
システム管理者マニュアル Ver1.0

6-2. デザインテンプレートを作成する上での基本ルール (2/3)

デザインテンプレートを作成するには本ソフト独自の基本ルールがあります。この基本ルールは、基本的に他の当社製品と互換性があり、一度覚えると他のソフトでのデザインテンプレートの作成時にも応用できます。

✓ デザインパーツの切り分け

一つのデザインテンプレートファイルには複数のデザインパーツが含まれている場合があります、それぞれを切り分けるために下記のように区切り線 (HRタグ) が利用されています。



デザインテンプレート

✓ 変換キー

入力されたFAQ情報の内容をテンプレートに埋め込むためには「変換キー」という特殊な記号が利用されます。たとえば、テンプレート内に質問(Q)を表示させたいとすると、質問用の変換キー「#qa_q#」を表示させたい箇所に埋め込みます。実際に表示されるときにこの変換キーが質問に置き換わって表示されます。変換キーはFONTタグや、Aタグなどを使って自由にデザインできます。

利用できる変換キーは、右の変換キーリストになります。

項目名	変換キー
登録番号	#qa_code#
登録日	#qa_time#
更新日	#qa_uptime#
カテゴリコード	#qa_cate#
質問	#qa_q#
回答	#qa_a#
補足	#qa_sub#
関連リンク	#qa_link#
画像1	#qa_img1#
画像2	#qa_img2#
カテゴリ名	#cat_name#
カテゴリ内登録数	#cat_num#
カテゴリ説明文	#cat_com#

変換キーリスト

6. デザインテンプレートを作成する

システム管理者マニュアル Ver1.0

6-2. デザインテンプレートを作成する上での基本ルール (3/3)

- ✓ 変換するデータが空の場合、周辺タグを非表示にする
たとえば、関連リンクをイメージに対してリンクをつけたい場合、関連リンクが未入力の場合でもリンク用のイメージは表示されてしまいます。
そこで、下記の方法で関連リンクが未入力の場合、リンク用のイメージ画像を非表示にすることが出来ます。

例) イメージのリンクが下記のようにになっていた場合

```
<a href="#qa_link#></a>
```

↓
<!-- qa_link -->

```
<a href="#qa_link#></a>
```

```
<!-- qa_link -->
```

このように、変換キーを使ったコメントタグ「<!-- qa_link -->」を非表示にしたいHTMLタグの両端に埋め込むことで、この変換キーのデータが未入力だった場合、コメントタグの間に挟まれたタグが削除されます。

この処理は、他の変換キーでも同様に行えます。

- ✓ 詳細ページやカテゴリ別一覧ページへのリンク
詳細ページやカテゴリ別の一覧ページは、本ソフトで自動生成されるページで、カテゴリ別一覧ページはカテゴリ管理番号がページのファイル名となり、詳細ページはカテゴリコード+4桁の通し番号にます。
たとえば環境設定でカテゴリ管理番号の初期値を「ca001」とし、公開用HTMLファイルの拡張子を「html」とした場合、作成されるカテゴリ別一覧ページは、ca001.html、ca002.html、ca003.html・・・というようにファイル名が付いて行きます。
また、詳細ページは、カテゴリコード「ca001」に登録されているデータの場合、detail_ca0010001.html、detail_ca0010002.html、detail_ca0010003.htmlというファイル名で作成されていきます。
デザインテンプレート内にページのリンクを作成する場合は、下記のようになります。

詳細ページ 詳細ページへ

カテゴリ別一覧ページ #cat_name#

変換キー「#html_ext#」は環境設定で設定した「公開用HTMLファイルの拡張子」の値に変換されます。

- ✓ リストの繰り返し表示用記号について
質問の一覧や質問と回答の一覧を作成するとき、テンプレートのHTMLタグを繰り返し出力する処理を行います。
その繰り返し表示を行うHTMLタグの前後に「<!-- CUT -->」というコメントタグが入っていますので、既存のデザインテンプレートをカスタマイズして独自のデザインを作成する場合は、このコメントタグを削除しないようご注意ください。

6. デザインテンプレートを作成する

システム管理者マニュアル Ver1.0

6-3. 基本フレームのデザインテンプレートの作成(1/2)

基本フレームのデザインテンプレートファイル [temp-base.htm]

基本フレームは、ヘッダー、フッター、ナビゲーションなどで構成されるページで、デザインの外枠となる部分になります。(図1)

✓ タイトル

基本フレームのタイトルタグには、下記のように「#TITLE#」という変換キーを加えます。

```
<TITLE>#TITLE# サンプルホームページ</TITLE>
```

#TITLE#部分は一覧ページや詳細ページのタイトルに書き変わり、たとえば全一覧ページ(temp-list.htm)のタイトルが「よくある質問と回答」というタイトルの場合、自動生成された全一覧ページのタイトルは、下記のようになります。

```
<TITLE>よくある質問と回答サンプルホームページ</TITLE>
```

✓ カテゴリメニュー

カテゴリメニューを埋め込みたい箇所に「#MENU#」という変換キーをおいてください。「#MENU#」はデザインテンプレート(temp-menu.htm)より生成されたカテゴリメニューが埋め込まれます。

✓ ページ本体

一覧ページや詳細ページを表示させたいスペースには「#MAIN#」という変換キーをおいてください。この変換キーに一覧のリストや詳細ページ、検索結果などが置き換わります。

✓ キーワード検索フォーム

キーワード検索用のフォームタグは図2のように作成してください。変換キー「#w#」は、検索結果の表示画面で、入力したキーワードをフォーム中に残すために使用されます。



図1: 基本フレーム (temp-base.htm)

フォームのアクション設定は「公開ページ用CGIプログラム」を指定してください。

```
<FORM action="faq.cgi" method="POST">
  <INPUT size="16" type="text" name="w" value="#w#">
  <INPUT type="submit" value="検索">
  <INPUT type="hidden" name="action" value="search">
  <INPUT type="hidden" name="cate" value="#cate#">
</FORM>
```

この隠しフィールドを入れることで、全一覧ページでは全体から検索、カテゴリ一覧ではそのカテゴリ内で検索するようになります。省略すると常に全体から検索を行います。

図2: 検索用フォームのHTMLタグ

6. デザインテンプレートを作成する

6-3. 基本フレームのデザインテンプレートの作成(2/2)

カテゴリ一覧ページや詳細ページごとに別々の基本フレームを利用する。基本フレームのテンプレートは、基本的にはすべてのページで同一のものが使われますが、一覧ページや詳細ページなどで、ほかとデザインを変更したい場合が出てくるかもしれません。

そのような場合は、「temp-base.htm」と同じフォルダ内に以下のファイル名で専用の基本フレームを作成することで、各画面個別に基本フレームを用意することが出来ます。

- ✓ 全一覧ページ専用の基本フレーム
temp-base_list.htm

- ✓ カテゴリ一覧用の基本フレーム
A. temp-base_cate.htm
さらにカテゴリごとに別々の基本フレームを利用したい場合
B. temp-base_ca***.htm
「ca***」の部分には、作成したいカテゴリのカテゴリコードが入ります。
※AとB両方作成した場合、Bの基本フレームが優先されます。

- ✓ 詳細ページ専用の基本フレーム
A. temp-base_detail.htm
カテゴリごとに別々の基本フレームを利用したい場合
B. temp-base_detail_ca***.htm
「ca***」の部分には、対象のカテゴリコードが入ります。
※AとB両方作成した場合、Bの基本フレームが優先されます。

- ✓ 検索結果用の基本フレーム
temp-base_search.htm

6. デザインテンプレートを作成する

システム管理者マニュアル Ver1.0

6-4. 全一覧ページのテンプレートの作成 [temp-list.htm]

全一覧ページは登録しているすべてのコンテンツ情報を一覧表示するページになります。

- ✓ **デザインパート1**
デザインパート1はページタイトル部分と、質問一覧が表示される変換キー「#Q_LIST#」と、質問と回答の一覧が表示される「#QA_LIST#」で構成されています。
全一覧ページは質問一覧しか表示させない場合は「#Q_LIST#」のみ利用します。
- ✓ **デザインパート2**
デザインパート2は質問一覧のリストを作成するためのパーツで、図2のように「<!-- CUT -->」というコメントタグが3箇所入り、Aのカテゴリ名が入るブロックとBの質問一覧が入るブロックに切り分けられています。
このAのHTMLとBのHTMLが繰り返されることで図3のようなリストが作成されます。



図1: 全一覧 (temp-list.htm)

```

<HR width="99%">
<DIV class="q_list">
<!-- CUT --> A:カテゴリ表示用
<H2 class="category"><A href="#cat_code#. #html_ext#">#cat_name# (#cat_num#件)</A></H2>
<!-- CUT -->
<H3 class="question"><B>Q. </B> <A href="##qa_code#">#qa_q#</A></H3>
B:質問一覧表示用
<!-- CUT -->
</DIV>
<HR width="99%">

```

- ✓ **デザインパート3**
デザインパート3は質問と回答がセットになった一覧を作成するためのパーツです。
デザインパート2同様、3箇所のコメントタグで切り分けられ、上側がカテゴリ表示用のタグで、下部が質問と回答用のタグになっています。
- ✓ **ページタイトル**
ページタイトルで利用可能な変換キーはありません。
「よくある質問と回答」といったような、全一覧ページとしてふさわしいタイトルを付けてください。

図2: デザインパート2のHTML

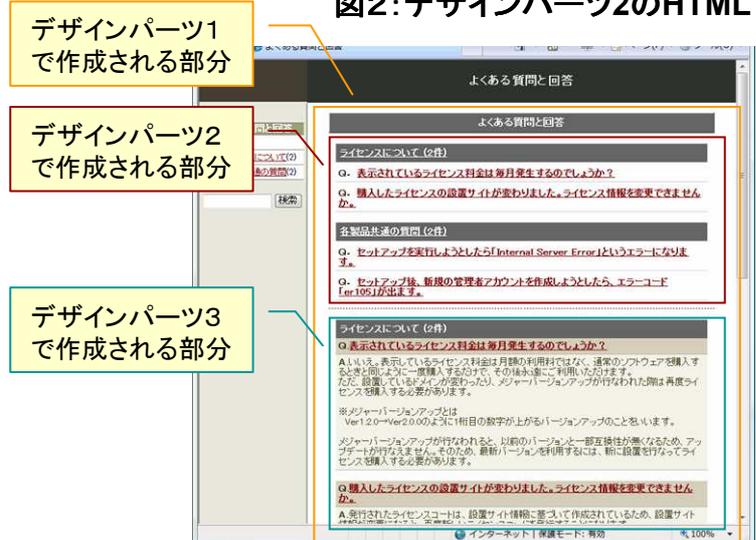


図3: 生成された全一覧ページ

6. デザインテンプレートを作成する

システム管理者マニュアル Ver1.0

6-5. カテゴリ別一覧ページのテンプレートの作成 [temp-cate.htm]

カテゴリ別一覧ページは管理メニューの「カテゴリ管理」で登録したカテゴリの数だけ作成される一覧ページになります。

- ✓ **デザインパーツ1**
デザインパーツ1はページタイトル部分と、質問一覧が表示される変換キー「#Q_LIST#」と、質問と回答の一覧が表示される「#QA_LIST#」で構成されています。
カテゴリ別一覧ページでは質問一覧しか表示させない場合は「#Q_LIST#」のみ利用します。
- ✓ **デザインパーツ2**
デザインパーツ2は質問一覧のリストを作成するためのパーツで、コメントタグ「<!-- CUT -->」が2箇所入り、質問の一覧が作成されます。
- ✓ **デザインパーツ3**
デザインパーツ3は質問と回答がセットになった一覧を作成するためのパーツで、2箇所のコメントタグで切り分けられ、質問と回答の一覧が作成されます。
- ✓ **ページタイトル**
ページタイトルを「#cat_name#」とすると、ページタイトルにカテゴリ名を入れることができます。



図1:カテゴリ一覧 (temp-cate.htm)

※カテゴリごとに別々のデザインテンプレートを使いたい場合

複数登録したカテゴリのうち1つだけ画像付きの回答枠を用意した場合、他のカテゴリのテンプレートとは別に、画像表示枠があるテンプレートを用意する必要があります。

その場合、下記のようなファイル名でテンプレートファイルを作成する必要があります。

temp-cate_ca***.htm

(ca***には該当のカテゴリ番号が入ります)

例) temp-cate_ca001.htm

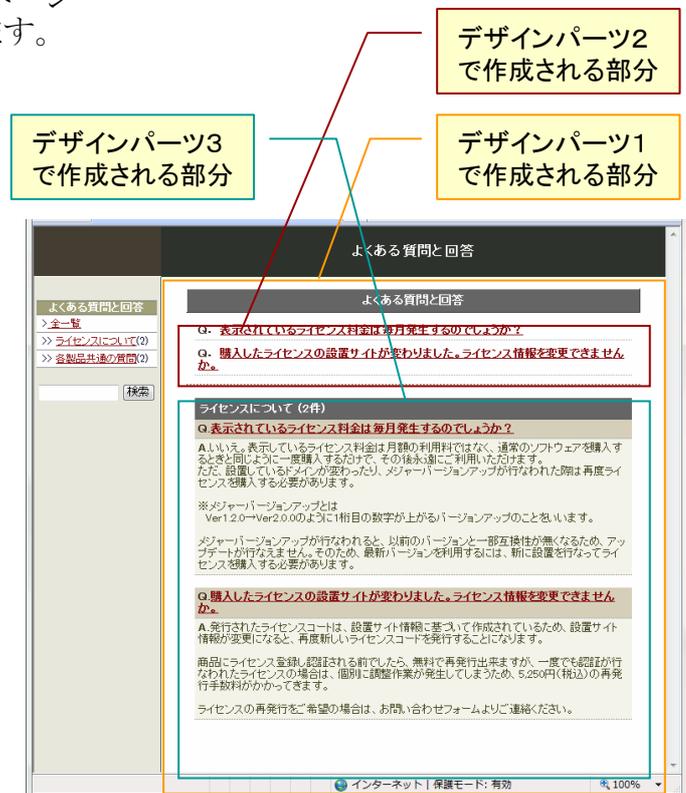


図2:生成された全一覧ページ

6. デザインテンプレートを作成する

システム管理者マニュアル Ver1.0

6-6. 検索結果一覧のテンプレートの作成 [temp-search.htm]

検索結果一覧ページはキーワード検索を行なった際に表示されるページになります。このテンプレートのデザインパーツ1~3は全一覧ページ用のテンプレートと同等の作りになっています。

ただ、デザインパーツ1には検索結果一覧用の変換キーがいくつか利用できます。

- ✓ **デザインパーツ1**
デザインパーツ1は「#Q_LIST#」「#QA_LIST#」のほかに、下記の変換キーが利用できます。
 - **検索キーワード #w#**
検索フォームより入力した検索キーワードが表示されます。
 - **ヒット件数 #num#**
検索にヒットしたログ件数を表示します。
- ✓ **デザインパーツ2**
全一覧ページのデザインパーツ2と同様
- ✓ **デザインパーツ3**
全一覧ページのデザインパーツ3と同様
- ✓ **デザインパーツ4**
検索結果が0件だった場合や、正しい検索が行われなかった場合のメッセージボックスとして利用されます。
- ✓ **ページタイトル**
ページタイトルに検索キーワードの変換キー「#w#」が利用できます。



図1: 検索結果一覧 (temp-search.htm)

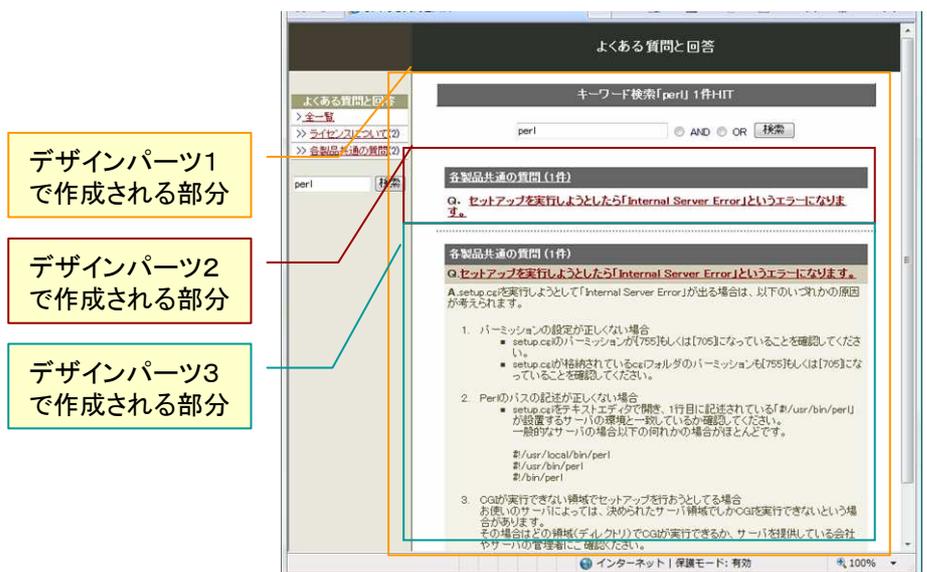


図2: 生成された検索結果一覧ページ

6. デザインテンプレートを作成する

システム管理者マニュアル Ver1.0

6-7. 詳細ページ用テンプレートの作成 [temp-detail.htm]

詳細ページ用のデザインテンプレートファイルは、回答を別ページで表示させたい場合や、ポップアップで表示させたい場合に利用します。

デザインパーツは1つのみで構成されています。

ポップアップ表示を行う場合は、基本フレームにヘッダーやフッターは必要ありませんので、詳細ページ専用の基本フレーム(temp-base_detail.htm)を作成します。

- ✓ ページタイトル
ページタイトルを「#qa.q#」とすると、タイトルに質問の内容が入ります。

※カテゴリごとに別々のデザインテンプレートを使いたい場合

複数登録したカテゴリのうち1つだけ画像付きの回答枠を用意した場合、他のカテゴリのテンプレートとは別に、画像表示枠がある詳細ページ用テンプレートを用意する必要があります。

その場合、下記のようなファイル名でテンプレートファイルを作成する必要があります。

temp-detail_ca***.htm

(ca***には該当のカテゴリ番号が入ります)

例) temp-detail_ca001.htm



図1: 詳細ページ用デザインテンプレート



図2: 生成された詳細ページ

6. デザインテンプレートを作成する

システム管理者マニュアル Ver1.0

6-8. カテゴリメニュー用テンプレートの作成 [temp-menu.htm]

カテゴリメニュー用のデザインテンプレートは、カテゴリ別一覧ページへリンクするためのメニューで、基本フレーム内に表示させることができます。

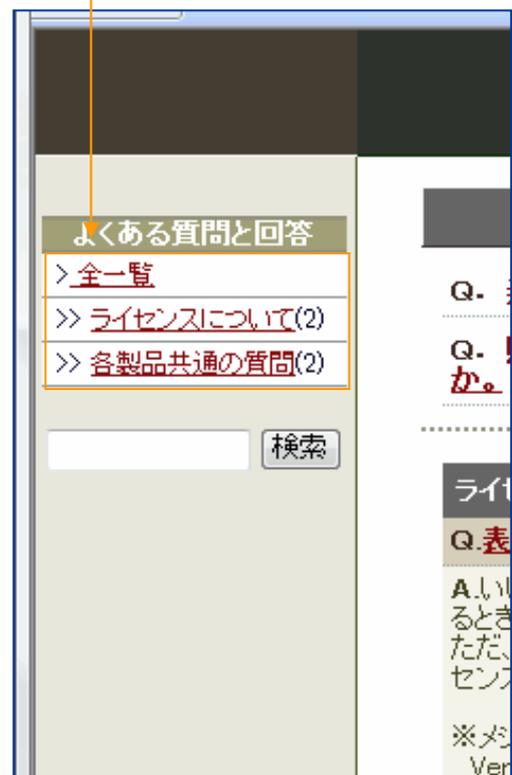
デザインパーツ1

カテゴリ別一覧ページにつながるメニューが作成されます。
テンプレートでは下記の変換キーが利用できます。

項目名	変換キー
全一覧のファイル名	#list_all#
カテゴリコード	#cat_code#
カテゴリ名	#cat_name#
カテゴリ内登録数	#cat_num#
カテゴリ説明文	#cat_com#



図1: カテゴリメニュー用テンプレート



7. その他の設定と公開準備

7-1. 公開用CGIプログラムを設定する

公開用CGIプログラムはデフォルトで「/faq/public/faq.cgi」の位置にあります。このCGIプログラムはキーワード検索を行う際に利用するためのプログラムで、「公開HTMLファイル格納フォルダ」(例ではpublicフォルダ)内に入れてください。

✓ 利用環境に合わせた設定事項

本CGIをテキストエディタで開き、利用する環境に合わせて設定を書き換える必要があります。下記の手順に従って設定の変更を行なってください。

➤ Perlのパスの設定

ファイルの1行目にある「#!/usr/bin/perl」という箇所をサーバーの環境に合わせて書き換えてください。

➤ CGIディレクトリの位置

本CGIファイルを設置したフォルダから見たCGIディレクトリ(/faq/cgi/)までのパスを指定してください。

たとえば下記のようなフォルダ構成で本CGIスクリプトを設置する場合は以下のような設定になります。

/cgi-bin/faq/cgi/	←CGIディレクトリの設置場所
/public/faq.cgi	←本CGIファイル

```
my $home_dir = '../cgi-bin/faq/cgi';
```

7. その他の設定と公開準備

システム管理者マニュアル Ver1.0

7-2. サーバへのアップロードと動作確認

作成したデザインテンプレートファイルは、すべてFTPでサーバにアップロードする必要があります。

アップロードが完了したら、実際にFAQコンテンツの入力をおこなってみて、正しくページが作成されているか確認します。

FAQコンテンツの登録後にデザインテンプレートの調整を行ったり、環境設定で公開設定などを変更した場合、変更内容を公開ページに反映させる必要があります。

公開ページを最新の状態にするには、管理画面の「HTMLの再構築」を行います。(図1)

HTMLの再構築を行うと、公開HTMLがすべて作り直されます。



図1:HTMLの再構築

8. その他の技術情報

システム管理者マニュアル Ver1.0

8-1. スタイルシートが正しく適用されない場合の設定(1/2)

図3のように、スタイルシートが正しく適用されていないために表示が崩れてしまっている場合があります。これは、お使いのWEBサーバの仕様で、CGIなどの実行ファイルをおくディレクトリと、HTMLや画像ファイル、CSSファイルなどを置くディレクトリ混在させることが出来ないようになっているからです。その様な仕様のため、管理画面で利用しているCSSファイルや画像ファイルが読み込むことが出来ず、図3のようになってしまいます。

対策としまして、画像やCSSファイルが格納されている「imageフォルダ」を読み込み可能な領域に移動する必要があります。

- 設定方法

まず、管理画面の「フォルダ設定」メニューを開きます。

その中に「イメージファイル格納フォルダ」の設定で、CGIファイルの格納領域以外に移動します。

(大抵のサーバは「cgi-bin」フォルダをCGI専用のフォルダにしている場合が多いため、cgi-binフォルダ以外の場所にimageフォルダを移動することで正しく表示できるようになります。)

※フォルダ設定の方法につきましては、「4-4. フォルダ位置の設定」をご参照ください。

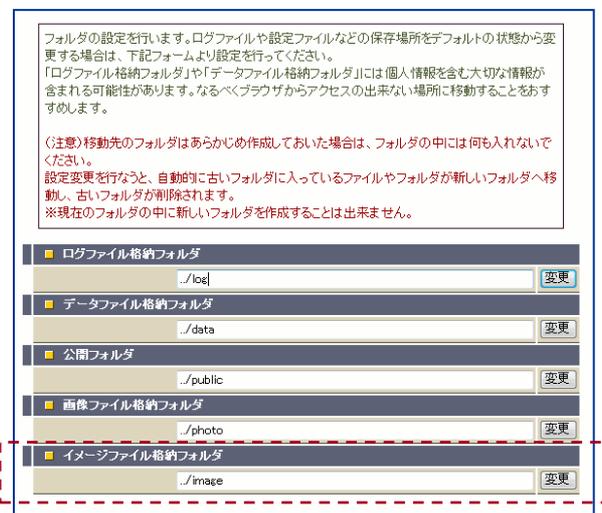


図1:フォルダ設定画面



図2:スタイルシートが適用されている状態



図3:スタイルシートが適用されていない状態

8. その他の技術情報

システム管理者マニュアル Ver1.0

8-1. スタイルシートが正しく適用されない場合の設定(2/2)

前ページの設定でimageフォルダの移動処理を行なってもエラーになってしまい正しくフォルダの移動が行えない場合は、手動で移動することが出来ます。

✓ 設定方法

「faq¥cgi¥folder.pl」をテキストエディタで開くと「イメージファイル格納フォルダ」の設定箇所があります。

```
### イメージファイル格納フォルダ
$imageDir = "../image";
```

ここで、「../image」の箇所を移動先のパスに書き換えます。パスの記述方法は**必ず相対パスで記述**する必要があります。相対パスは「cgi/admin.cgi」から見たパスを記述してください。

たとえば、最初の状態が以下のような構成になっているとします。

```
/cgi-bin/faq/cgi/admin.cgi      ← admin.cgiの位置
/cgi-bin/faq/image/             ← imageフォルダの位置
```

ここから、imageフォルダを以下の位置に移動したいとすると

```
/cgi-bin/faq/cgi/admin.cgi      ← admin.cgiの位置
/public_html/faq/image/         ← imageフォルダの位置
```

「\$ImageDir」の設定は以下ようになります。

```
### イメージファイル格納フォルダ
$imageDir = "../../public_html/faq/image";
```

次に実際にimageフォルダをFTPソフトを利用して「/cgi-bin/faq/image/」から「/public_html/faq/image/」に移動します。

これで手動での設定が完了です。

再度管理画面にアクセスしてみて正しくスタイルシートが適用されているかご確認ください。

8. その他の技術情報

8-2. 管理画面へのログイン履歴

✓ 管理画面へのアクセス履歴を確認する

本ソフトでは、管理画面へのアクセス履歴をすべて保存しています。記録する項目は、「アクセス履歴」「ログイン履歴」「ログアウト履歴」で、すべての項目に対して、「日時」「ログインユーザー名」「アクセス元ホスト情報」などが記録されます。

➤ アクセス履歴

管理画面へ一度ログインするとデフォルトでは、10日間クッキーが保存され、ログインを行なわなくても、管理画面にアクセスできるようになります。そのようにクッキーを利用してログインした管理者の履歴を、前回のアクセス日時から6時間以上経過した場合、新たなアクセスとして記録されます。

➤ ログイン履歴

管理画面にユーザー名とパスワードを使ってログインした場合、ログイン履歴として記録されます。

ログイン履歴は、どのユーザーがログインしたか、また、ログインは成功したか失敗したかが記録されます。

たとえば、登録されていないユーザー名で何度もログインを行なって失敗している形跡があると、悪意のある第三者が不正にログインを行なおうとしている痕跡かもしれません。

➤ ログアウト履歴

管理画面からログアウトを行なった、ユーザーと日時、ホスト名が記録されます。

日時	ユーザー名	ステータス	ホスト名
2008-05-30 11:15:04	admin	アクセス	px2hitachi.co.jp
2008-05-28 19:41:02	admin	アクセス	z23861-45-12ppp.wakwak.ne.jp
2008-05-28 07:22:20	admin	アクセス	p194110.doubleroute.jp
2008-05-27 11:57:10	user	アクセス	p1068-pbf1102sapodori.hokkaido.ocn.ne.jp
2008-05-24 23:57:29	admin	アクセス	218-228-139-220.aonet.ne.jp
2008-05-22 20:04:42	admin	アクセス	p7183-pbf1p301nho.hiroshima.ocn.ne.jp
2008-05-22 14:29:44	admin	アクセス	i125-206-36-204.s30.a048.ap.plala.or.jp
2008-05-22 11:00:42	admin	アクセス	p3058-ipad304funabasi.chiba.ocn.ne.jp
2008-05-22 00:01:33	admin	アクセス	218-228-139-220.aonet.ne.jp
2008-05-21 17:50:31	admin	アクセス	59x159x246x154.ap59.ftth.ucom.ne.jp
2008-05-21 11:09:07	admin	アクセス	p3058-ipad304funabasi.chiba.ocn.ne.jp
2008-05-21 10:51:54	user	アクセス	p2233-pbf1305sapodori.hokkaido.ocn.ne.jp
2008-05-21 10:07:54	admin	アクセス	126.16.30.125.dy.sij4u.or.jp
2008-05-20 10:42:42	admin	アクセス	126.16.30.125.dy.sij4u.or.jp
2008-05-18 20:58:57	user	アクセス	p246.net059084099.tokai.or.jp
2008-05-18 09:53:56	user	アクセス	p246.net059084099.tokai.or.jp
2008-05-17 07:48:05	admin	アクセス	p2001-pbf2610marunouchi.tokyo.ocn.ne.jp
2008-05-11 21:09:06	user	アクセス	i60-95-206-40.s02.a005.ap.plala.or.jp
2008-05-09 14:13:56	user	アクセス	p1076-pbf205sapodori.hokkaido.ocn.ne.jp
2008-05-09 11:31:07	admin	アクセス	p2012-pbf506niegataninieata.ocn.ne.jp
2008-05-06 21:00:41	admin	アクセス	58x156x47x19.ap68.ftth.ucom.ne.jp
2008-05-01 19:04:52	admin	アクセス	202.61.20.70.static.zoot.jp
2008-04-30 20:59:52	admin	アクセス	p62900d.tkyoac00.ap.so-net.ne.jp

ログイン履歴照会画面

8. その他の技術情報

8-3. 管理メニューの設定

✓ 管理画面のメニューアクセス権限を設定する

管理画面の左側メニューのアクセス権限設定が行なえます。
システム管理者向けのメニューなのか、ホームページ管理者向けのメニューなのかを切り替えます。
通常は特に変更する必要はありませんが、システム管理者向けのメニューをホームページ管理者でもアクセスできるようにしたり、逆にホームページ管理者向けのメニューをシステム管理者専用のメニューに変更したりする際に、ここで設定を行ないます。

管理メニューのアクセス権限を変更する場合は、チェックボックスのチェックを変更して、「アクセス権限の変更」ボタンをクリックしてください。
メニューをシステム管理者権限にして、ホームページ管理者にはアクセスできないようにするには、アクセス権限のチェックボックスにチェックを付けてください。

管理画面の左側メニューの設定が行なえます。
管理メニューのアクセス権限を変更する場合は、チェックボックスのチェックを変更して、「アクセス権限の変更」ボタンをクリックしてください。
メニューをシステム管理者権限にして、ホームページ管理者にはアクセスできないようにするには、アクセス権限のチェックボックスにチェックを付けてください。

メニュー	リンク先	アクセス権限
カテゴリ管理	admin.cgi?html=cate	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
基本設定		<input type="checkbox"/> システム管理者
アカウント設定	admin.cgi?html=account	<input type="checkbox"/> システム管理者
環境設定	admin.cgi?html=conf	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
管理メニュー		<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
HTMLの再構築	admin.cgi?html=html&action=remake	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
フォルダ設定	admin.cgi?html=folder	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
ログイン履歴	admin.cgi?html=login&action=check	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
メニュー管理	admin.cgi?html=menu&action=setup	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者
ライセンス情報	admin.cgi?html=admin&action=show_license	<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者

アクセス権限の変更

メニュー設定画面

9. その他の技術情報

システム管理者マニュアル Ver1.0

9-4. 本ソフトのライセンス情報について

管理メニューの「システム情報」を選択すると、本ソフトに登録しているライセンス情報や商品のバージョン情報が確認できます。

また、CGI-Parkの商品データベースにアクセスし、最新のアップデートファイルが公開されていないか、確認します。もし、最新のアップデートファイルが公開されていれば、アップデート情報の欄に「最新のアップデートファイルが公開されています」といったメッセージが表示され、アップデートファイルが公開されているページのリンクが表示されます。

The screenshot shows a web interface with the following elements:

- A yellow callout box at the top points to a header area, stating: "最新のアップデートファイルが公開されていればここにメッセージが表示されます。" (If the latest update file is published, a message will be displayed here.)
- A box titled "アップデート情報" (Update Information) contains the text: "現在は最新の状態です。" (Currently in the latest state.)
- A table titled "バージョン情報" (Version Information) lists the following details:

バージョン情報	FAQ職人 Ver 1.0.0
ライセンスコード	Ls023128-0449-0001
設置サイト	CGI-Park
設置サイトURL	http://www.cgi-park.com
テストサーバー	
登録日時	2009年01月30日(金)
- A yellow callout box on the right points to the version information table, stating: "本ソフトのバージョン情報や、登録したライセンス情報が表示されます。" (The version information of the software and the registered license information will be displayed.)
- A table titled "メンテナンス" (Maintenance) lists the following options:

アップデート	システムのアップデートを行いません。	>> GO
システム再構築	システムファイルを再構築します。	>> GO
作業履歴	システムのアップデートや再構築の作業履歴が確認できます。	>> GO

システム情報

9. その他の技術情報

9-5. システムのアップデート (1/2)

✓ アップデートについて

CGI-Parkのホームページより最新版のアップデートファイルを手に入れたら、管理メニューの「システム情報」より、アップデート作業を行なうことができます。アップデートファイルは、必ず現在利用している製品のバージョンに対応したものを入手してください。

アップデートファイルが複数公開されている場合は、一番古いものから順に当てていってください。順番を間違えると正しくアップデートが行なわれません。

✓ アップデートファイルの種類

アップデートファイルには2種類あり、一つはプログラムファイルや設定ファイルを新しいものにおきかえるというもので、もう一つは実行ファイルが含まれており、アップデートを実行するとプログラムが起動し、システム内の情報を書き換えるタイプのもので、アップデートファイル内に「exe.pl」が含まれている場合は、後者の実行ファイル入りのアップデートファイルとなります。

✓ 注意事項

・本ソフトは、基本的には改造不可としていますが、もし、何らかの改造を加えた場合は、アップデートを行なうことで、改造を施したファイルが最新のファイルに上書きされ、元に戻ってしまう可能性があります。

独自に改造を行なっている場合は、アップデートは行わないでください。

・アップデート処理は、設置しているサーバの環境により正しく行えない場合もあるかもしれません。万が一のトラブルに備え、事前にログファイル等をバックアップしてからアップデートを行なうことをおすすめします。

万が一アップデートにより、システムが破損してしまった場合でも、当社では一切責任を負いかねますので、アップデートを実施する際は、バックアップをとった上で自己の責任において実施してください。

9. その他の技術情報

システム管理者マニュアル Ver1.0

9-5. システムのアップデート (2/2)

✓ アップデートの開始

1. 管理メニューの「システム情報」を選択し、「アップデート」という項目のボタンをクリックします。
2. 「参照」ボタンをクリックし、CGI-Parkホームページより入手したアップデートファイル（拡張子が.cpmとなっているファイル）を選択し、「開く」ボタンを押してください。（図1）
3. ファイルを選択したら「確認」ボタンをクリックしてください。誤ったアップデートファイルを選択したら、エラーメッセージが表示されます。正しいファイルを選択しなおしてください。
正しいアップデートファイルを選択したら、アップデート内容の説明や、更新対象のファイル等の情報が確認できます。（図2）
4. アップデート情報を確認し、内容に問題がなければ「アップデート実行」ボタンを押してください。アップデートが実行され、システムの更新が開始されます。
5. アップデート処理が終了すると、アップデートの完了画面が表示されます。これでアップデート処理は正常に終了しました。



図1: アップデートファイルの選択



図2: アップデートファイルの確認

✓ アップデート履歴の確認

アップデートを行なった日時や処理内容が履歴として保存されます。「システム情報」ページの作業履歴の項目のボタンをクリックすると今まで行なったアップデート作業等が表示されます。

9. その他の技術情報

システム管理者マニュアル Ver1.0

9-6. システムの再構築

✓ システムの再構築について

プログラムファイルやHTMLデザインファイル等が万が一破損して正しく処理が行えなくなってしまう場合、最後にアップデートを行ったときの状態にシステムを復元することが出来ます。

✓ 再構築を実行するうえでの注意事項

・本ソフトは、基本的には改造不可としていますが、もし、何らかの改造を加えた場合は、再構築を行なうことで、改造を施したファイルが元のファイルに上書きされ、元に戻ってしまう可能性があります。

・再構築処理は、設置しているサーバの環境により正しく行えない場合もあるかもしれません。万が一のトラブルに備え、事前にログファイル等をバックアップしてから再構築を行なうことをおすすめします。

万が一再構築により、システムが破損してしまった場合でも、当社では一切責任を負いかねますので、再構築を実施する際は、バックアップをとった上で自己の責任において実施してください。

✓ 再構築を実行する

1. 管理メニューの「システム情報」を選択し、システム再構築の項目のボタンをクリックしてください。
2. 再構築の確認画面が表示されます。(図1)
更新対象ファイルという項目で表示されているファイルが、再構築を実行するファイルの一覧です。
もしこの中に更新したくないファイルが含まれている場合は、再構築は行わないでください。再構築を行なうことで、初期状態に戻ってしまいます。
3. 更新ファイルを確認し、再構築を行なってもよろしければ「再構築を実行」ボタンをクリックしてください。再構築の処理が開始されます。
4. 処理が完了すると、再構築の完了画面に切り替わります。これで、再構築処理が正常に終了しました。



図1:再構築の確認画面